2016.11.08

【笹岡委員】　　修正ありがとうございました。いろいろと考えて変えてくださって大変だっただろうなと思います。

　整備水準に関しては、私も堀内委員とほぼ同じ意見でありますので、３から５という数字が出ていたかと思いますが、今のようなお話の追加があれば皆さん納得していただける、例えば第一小学校の単価ですとか、第一小学校は大野田小学校とか千川小と違って、普通のと言ったらあれかもしれないのですが、オーソドックスなものだと思いますので、それが３％から５％低減する場合ということが参考に書いてありますが、それと58ページの数字を比べると、これは武蔵野市は何てぜいたくをしているのだというようなことになりかねないと思いますので、私もここは慎重に、丁寧な言葉を書いたほうがいいと思います。

　もう１点、質問をさせていただきたいのですが、３ページの図が変わりまして、少し工夫はされたかなと思いますが、ちょっと依然わからないので伺いたいのですけれども、６ページです。総合管理計画とか類型別方針の改定時期とか更新があるのですけれども、こちらというのは、ちょっとまだ私わからないのが、長期計画と個別計画の足並みのそろえ方というのがまだわからなくて、６ページの行動計画（実行計画・展望計画）というのが何か前期、後期とありますけれども、個別計画というのは、今後新しく時期をずらして30年に策定とかいろいろ46ページ以降出てきましたが、どのように長計と一緒に動いていくものなのか、個別計画もまたそのように長計に反映されるように改定されていくものなのかというのを伺いたいと思います。

【堀内総合政策部参事】　　１番目につきましては、先ほどの委員さんの御意見と同じなので、御意見として賜りたいと思います。

　それから２つ目の長期計画と個別計画の関係でございますが、個別計画には、法に基づいて策定する策定時期が定められているというものもございます。それからそれも含めまして、この総合管理計画だけではなくて、さまざまな個別計画があるわけですけれども、すべからくこの長期計画あるいは調整計画と同じスケジュールで進んでいるということではございません。

私どもは、そういうことを踏まえまして、長期計画にしても個別計画にしても、それぞれに一番近いものに整合を図っていくようにということでこれまでもやってまいりましたし、この公共施設の総合管理計画も含めて今後もそのような形で進めてまいりたいというふうに思っております。

【笹岡委員】　　まあそうなのでしょうけれども、この書き方がちょっとわからなかったもので、では、この６ページの図になりますと、個別計画というのはどこに入ってくるのでしょうか。この行動計画というのは別物なのかどうかということ。

あと、類型別方針、37ページのこちらは、長期計画の議論の中で改めて検討されるものと考えるというような言葉は入ってこないのかどうかというのを伺いたいと思います。といいますのは、９月15日にいただいた特別委員会の資料の３番に、公共施設の見直しなどによっていろいろなコミュニティの再編なども考えられるかと思いますが、それは六長で議論すべき課題であるというような指摘に対して、答えは、類型別施設整備計画で定める具体的な事業については、それが実施される時期の長期計画の議論の中で改めて検討されるものと考えるというふうにあります。

こういったところで私は、長計と類型別方針、また類型別施設整備計画の具体的な事業、個別計画ですか、というものの関係性というのが少しこの本計画の中ではちょっとぐちゃぐちゃになってきかねないのかなと思いますけれども、46ページからはいろいろな検討・策定時期というのも明記されておりますし、しかし、そこと長期計画との関連性、その反映のされ方というのがわかりにくいのですけれども、もう少し説明をいただけたらと思います。

【堀内総合政策部参事】　　まず６ページの図表１−２についてでございますけれども、これは個々の個別計画と長期計画の関係を示したということではなくて、総合管理計画と長期計画の関係をお示ししたということで御理解いただければと思っております。

このほかにというか、当然さまざまな個別計画があるわけですが、これはちょっとどう御説明していいかわかりませんが、先ほど申し上げたことと重なるかと思いますけれども、それぞれが、策定の時期はずれるかもしれませんけれども、一番近い計画に合わせて必要であれば修正していく、あわせて整合を図っていくということだと思っております。

【名古屋総合政策部長】　　ちょっと補足させていただきますが、最上位の長期計画・調整計画については、公共施設等総合管理計画のさらに類型別計画の細かいところまで長計とか調整計画で規定というか計画づけするものではないというふうに考えております。

あくまでも施策と、それに伴う施設の方向性とか、そういった大きなところで長期計画・調整計画で方向性を定め、それに基づいてこの公共施設等総合管理計画、それからそれに基づく類型別の計画、そういうものがありますから、堀内参事から申し上げましたように、計画が全て一致してつくるというものではなくて、ずれますが、あくまでも長期計画が大元の方向性について定めるというふうに御理解いただければと思います。

【笹岡委員】　　必要に応じて変えていくというようなお話だと思うのですが、だとしたら、６ページのこの行動計画、実行計画、展望計画というのは一体何なんですかというのを伺いたいと思います。これは個別計画ではないという、この言葉というのは、では今後どこに行動計画等というのはなっていくのかということを伺いたいと思います。まずそれで。

【堀内総合政策部参事】　　６ページのこの図の表の１−２でございますが、この下枠の公共施設等総合管理計画という中のことなのです。この行動計画、実行計画、展望計画をあわせまして行動計画と呼んでおりますが、これはこの総合管理計画のことをいったものでございます。

【笹岡委員】　　では、６ページの公共施設等総合管理計画のさまざま前期、後期と六長と一緒になって動いていくものの行動計画というのは、公共施設等総合管理計画ということなのですか。あとは、今後も五長が終わり六長、七長で前期、後期、前期、後期というように総合管理計画も変わっていくということですか。

では、そのたびにこういった議会に報告があるのかということと、あと、私ちょっとまだよくしっくりこないのですが、46ページの個別計画、整備計画というのは、ではこれも、29年策定とか30年策定というふうに書いてありますが、今後必要に応じて計画がまた策定されて変わっていくということで合っていますかというのを伺いたいと思います。

　また、もう１点なのですが、小中一貫の検討についてのお話をさせていただきたいのですが、新しくいただきましたこの修正内容の横の紙の５ページの47頁です。学校施設は改築時期が近づいていることから、市民の意見を聞きながら積極的に取り組んでいくが、小中一貫の検討も踏まえてスケジュールの見直しも検討するというのが市の考えというふうになっておりますが、今までは小中一貫の検討の話は別物だというようなお話をずっとされてきたかと思うのですけれども、ここに来て小中一貫の検討を踏まえてこのスケジュールが入ってくるのだよねというようなお話になったのかなと思いますが、ここの御説明を伺いたいと思います。

　また、同じような横の資料の９月15日にいただいた資料ですと、そこの３ページの28番の34頁、類型別方針、学校施設の説明ですと、公共施設を削減、縮小していくという方向性の中で、小中一貫、一体化していくというのは、床面積を拡大する逆の方向であるのではないですかというような指摘に対しては、小中一貫に関しては教育の視点から議論を進めており、個々の類型、個々の施設のことを考える前提として、本計画で示した全体の方向性や枠組みを見据えて議論をいただくことが大事だと考えるというふうに書いてあるのですけれども、ここの関係がまたわからなくなっていて、今回のいただいたものですと、小中一貫の検討を踏まえてスケジュールを組まなければいけないというようなことがあるのですが、今まではそうではなかったのではないかなと思うのですけれども、いかがでしょうか。

【堀内総合政策部参事】　　まず最初の行動計画のところでございますけれども、今回この本書のほうの46ページ、VII章で実行計画と示しております。これは今回の総合管理計画、まだ案でございますけれども、これで示す行動計画のうち、前期５年、28年から32年まで、この間にこういうことをいわばアクションプランとして我々はやっていきますということをお示ししたものでございます。当然、今後長期計画の改定に合わせましてこの総合管理計画も改定をいたしていきますけれども、その時点の最初の５年、後半の５年、これは実行計画、展望計画という形で、これも当然見直していく、その際にはまた議会やあるいは市民の御意見を聞きながらというのは、先ほど御説明したとおりでございます。

　それから、小中一貫との関係でございますけれども、これも従前から申し上げていることと何ら変わりがあるところではございませんで、小中一貫というのは、あくまで教育的な観点からの検討を今していただいている。とはいっても、学校ですから教育的なところなのですが、ソフトのありようによって、それを実現するための施設ということになりますので、当然関係はしてまいりますので、このような記載をしているところでございますが、あるいはスケジュールも影響を受けるところでございますけれども、従前から申し上げていますように、小中一貫はあくまで教育的な観点からの検討、ただ、公共施設等総合管理計画の施設整備に関することについては、当然、先ほど申し上げた基本方針なり類型別方針にのっとってこれから検討していくということでございます。

【笹岡委員】　　わかりました。私は、この今新しくいただいた47番の感じのニュアンスと、前回までの、公共施設全体のことと小中一貫化は別に検討すべきであると考えるという委員会意見に対しての市の考えはそのように考えると書いてあるのです、前にいただいた資料では。ですので、それが少し弱くなって影響されてきているのかなというふうに思いますので、何かあれば伺いたいと思います。

　あと２点だけ。今回、45ページに、なお、今後の検討に当たっては、投資的経費の削減ではなくということで、さまざまな行政の努力が入ってくるというふうなことがありましたが、これは何かようやく入ったなというように感じました。この言葉が入ったことで、ただ単に床面積を減らすのではなくて、さまざまな努力をしていくということが伝わるようになったと思いますので、もう少し強調してもいいと思うぐらい大事なことだと思います。

　また、ここにありますこれらの歳入増として、使わないような資産の売却とか賃貸とか受益者負担の見直しと書いてありますが、これは長期計画の話になるかと思いますが、結局はファミリー層ですとかの取り込みが大事になってくるのかなと思いますが、この歳入増プラス全体の歳入増、今回の決算委員会でもやはり個人の市民税というのがかなり多かったですので、そういったこともこれから同時に考えていかなければならないのかなと思いますが、今回は健全財政維持に向けた目標の設定ということで入ってこないのかどうかというのも確認をさせていただきたいと思います。

　もう１点は、子育て施設の整備計画ということで47ページなのですけれども、取組事項の中の説明をいただきたいのですが、今後は将来の少子化や働き方の変化を見据えた上でとありますが、この働き方の変化というのはどういったことをいっているのかというのを説明いただきたいと思います。

【堀内総合政策部参事】　　まず、投資的経費の削減だけではなくて歳入増や経常経費の削減もというところについて御評価いただいたと思いますが、当然、そのファミリー世帯がふえることによって歳入がふえてくるということもそのとおりかなと思っています。ただ、これは公共施設の計画ですので、もっと大きな視点ではそのような市政運営あるいはまちづくりという観点は必要かと思いますが、この計画はあくまで公共施設の計画ということで、そこまではうたっていないということでございます。

　それから、47ページの子育て支援施設のところの、将来の少子化や働き方の変化も見据えた、その働き方の変化ということでございますが、今、待機児のこともございますように、社会に出る女性の方がふえております。共働きも含めましてそのような社会状況もございますので、そのようなことを念頭にこういう記載をしたということでございます。

【笹岡委員】　　わかりました。ぜひ長期計画でそういったことに重点を置いて今後検討していただきたいなと思います。

　この働き方の変化の文に関しては、ちょっと何か読んだときに余りしっくりこなくて、働き方というか、女性の就労とか就労形態が変わったのかなと。働き方の変化というと、一日のタイムマネジメントが変わったというか、そういうような、あとは専業主婦の視点とかは入っておりませんし、何かちょっとしっくりこないなと思いました。

　あともう１点は、将来の少子化や働き方の変化を見据えたということがありますが、これは31年に策定となっていますけれども、平成34年が小学生のピークですよね。なので、今この計画の中にその将来の少子化も踏まえたというよりも、この31年策定の話をするのであれば、34年に小学生のピークを迎えることの対策をしなければいけないのかなと思いましたが、いかがでしょうか。

【名古屋総合政策部長】　　まず、ここの働き方という記載でございますが、確かに堀内参事から申し上げましたように、女性の就労環境、社会進出等を指しておるのですが、委員おっしゃったように、当然、女性の就労環境も時代に応じて大きく変化してまいっているというふうに認識しておりますし、ここの記載の仕方も今後ちょっと検討させていただきたいと思います。

　それから、乳幼児、児童・生徒数の人口推計との絡みの関係だと思いますが、あくまでも、ここで少子化というふうに申し上げましたのは長期的な視点で作成するということで、大きなトレンドとしては、全体的には少子化のほうに向かっているというふうに認識しておりますので、一時的なピークはあるかもしれないのですが、そのさらに先については少子化という流れがありますので、そういった長期的な視点を重視した記載ということで御理解いただければと思います。

【笹岡委員】　　検討していただけるということで、お願いいたします。また、その少子化は大きなトレンドの社会的なことだと今おっしゃいましたが、これは市の計画ですので、ぜひその市のピークに沿って、子どもたちがあぶれるような、ぎゅうぎゅうに詰め込まれることのないようなあり方を検討していっていただきたいなと思います。

　以上です。